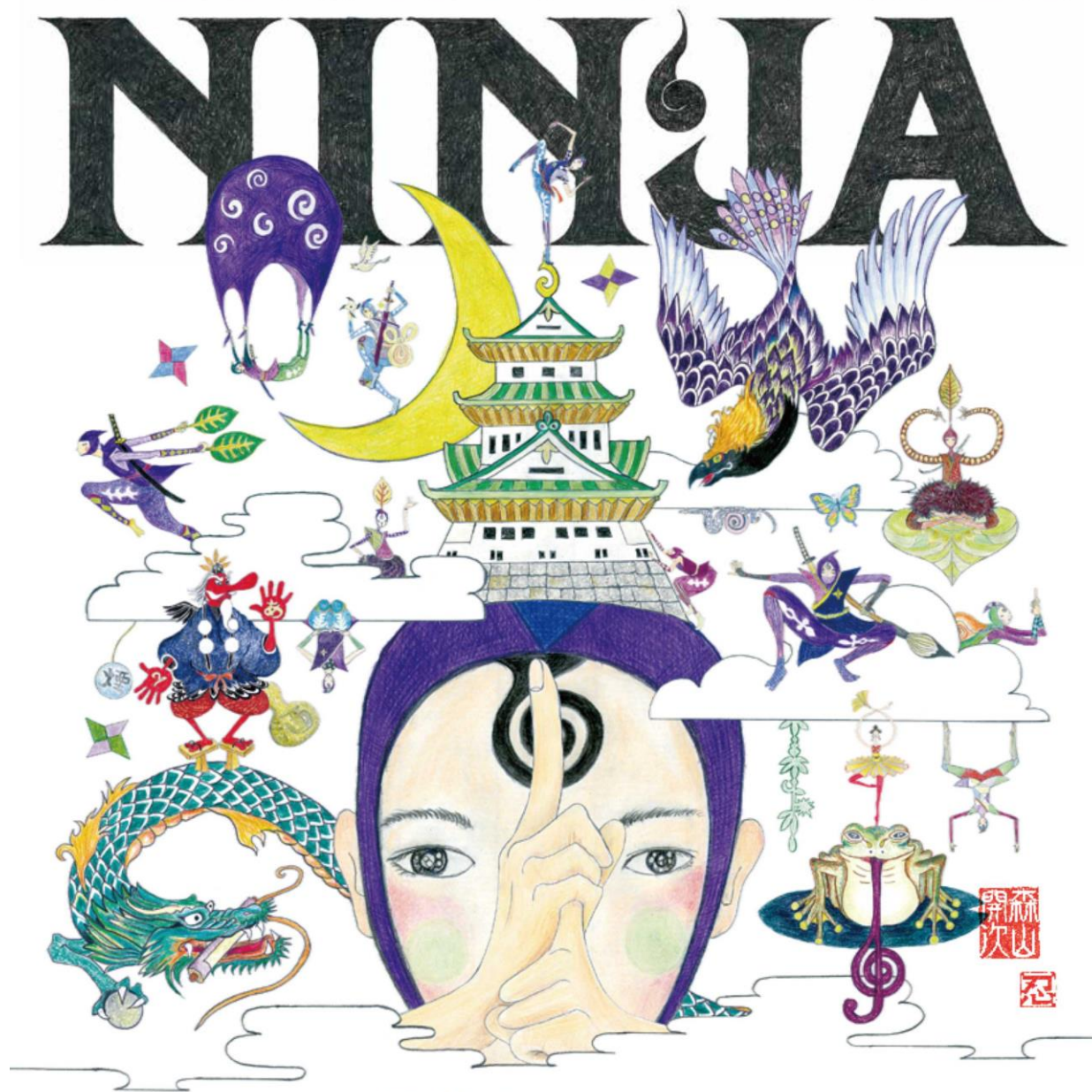


MORIYAMA KAIJI NINJA



新国立劇場 2021/2022 シーズンダンス
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2021/2022 SEASON DANCE

森山開次 / 新版・NINJA 忍者



令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ
新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

劇場を変えて、さらにパワーアップする人気作

森山開次による、大人も子どもも楽しめるダンス作品の第二弾として2019年に新国立劇場・小劇場をはじめ全国で大好評を得た『NINJA』が、中劇場での上演版として戻ってきます。

思わず口ずさみたくなるテーマソング「ひっそり、こっそり、ひっそり...♪」に合わせて躍動する忍者たちが不思議で楽しく、クールな世界を作り出します。子どもたちも、かつて子どもだった大人たちも心掴まれる舞台です。

Keyword1. 忍者ごっこがモチーフに!?ダンスの“忍術”

NHKの『からだであそぼ』をはじめ、新国立劇場では『サーカス』『NINJA』、そして新国立劇場バレエ団『竜宮 りゅうぐう』など、子どもが楽しめる作品を手掛けてきた森山開次。子どもの頃に手裏剣を作ったり、高い壁によじ登ったり飛び降りたり、忍者ごっこをして遊んだ記憶を作品に取り込んだという。それを体現するのは、バレエ、コンテンポラリーダンス以外にも新体操出身など身体能力の高い、個性豊かなダンサーたち。子どもだけでなく大人も思わず童心に帰って、ダンサーたちが繰り出す“忍法”に夢中になるはず。

忍者・森山開次 影との戦い



Keyword2. 自然界に“忍ぶ”ものたちへの眼差し



昆虫、動物など自然界に忍ぶものたちのダンスも、“忍者”から連想されたイメージとともに展開していきます。カエルが跳んだり、アメンボが泳いだり、ナメクジが神秘的にたゆたうダンスを踊ったり…。少年時代に夢中になった虫捕りなどの自然との戯れも創作の原点となっており、どこか懐かしさやノスタルジーを感じさせるシーンが次々と連なっていきます。

草むらに潜むカエルは蝶々を狙って飛び回り…?

Keyword3. 中劇場という空間を生かして

初演時に上演した小劇場と異なり、今回は中劇場に場を変えて上演します。森山はインタビューで「中劇場は山と谷を感じてもらえるような、スケールのある空間。森の中にいるような感覚になって舞台を楽しんでいただきたい」と話しています。森山は振付だけでなく、舞台美術や衣裳を含めた総合的なアートディレクションを行い、中劇場の中いっばいに世界観が広がります。そこで野山を駆け巡るように踊るダンサーたちと一緒に、山を登り谷を駆け降りるイメージを膨らませながら、舞台をお楽しみください。



撮影：鹿摩隆司

スタッフ Staff

【演出・振付・アートディレクション】森山開次 (MORIYAMA Kaiji)



21歳でダンスを始め、2001年ソロ作品の発表を開始。05年『KATANA』で「驚異のダンサー」(ニューヨークタイムズ紙)と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。12年発表の新国立劇場ダンス公演『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞、松山バレエ団顕彰・芸術奨励賞を受賞。13年文化庁文化交流使。18年KAAT神奈川芸術劇場『不思議の国のアリス』全国17都市ツアー、19年『ドン・ジョヴァンニ』にてオペラ初演出。『情熱大陸』『からだであそぼ』などメディア出演多数。令和2年度版小学校「書写」教科書(光村書店)編集協力。空中に文字を書く「空書き」教材の監修を担当した。15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』でも演出・振付・アートディレクションを手がけ、主演。新国立劇場バレエ団とコラボレーションを行った初のバレエ作品『竜宮りゅうぐう』は、コロナ禍により制作に多くの制限が課せられる中、20年7月にオペラパレス再開公演として上演され、世代を超えて多くの観客を魅了した。<http://kaijimoriyama.com>

【音楽】川瀬浩介 (KAWASE Kohske)



作曲家・美術家。1970年京都生まれ 東京育ち。2002年光のための音楽《Long Autumn Sweet Thing》を発表し、デビュー。05年、愛知万博で発表された映像作品《ポピュラスケープ》の音楽を担当。その雄大でロマンティックな楽曲は「この映像世界に魂を吹き込んだ」と評された。10年、第13回文化庁メディア芸術祭に、代表作《ベアリング・グロッケン II》が出展され話題に。12年、東京スカイツリーで催されたイルミネーションイベントにて光のインスタレーション《光の音色：a tone of light》を発表。NHK教育テレビ「からだであそぼ～踊る内臓」の音楽を担当し、森山開次、ひびのこづえと「LIVE BONE」シリーズでツアーを共にしている。新国立劇場では森山開次による15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』の音楽を担当、初台駅の列車接近メロディの編曲も手掛けている。デビュー以来、「間口が広く奥行きのあるもの」を追求している。

「あなたの心に眠る感動を呼び覚ますこと——それが私の使命です」<http://www.kawasekohske.info>

キャスト Cast



浅沼 圭 (ASANUMA Kei)

ダンサー。幼き頃は新体操に励み、持ち前の身体性を携え、日本代表に。柿崎麻莉子氏の出会いを機にコンテンポラリーダンスに魅了され、2015年、森山開次氏の作品『サーカス』にダンサーとして舞台に立ち始める。現在は多数の作品に出演しながら、振り付け、アーティストとのセッション、そして映画・CM・MVの出演等々活動は多岐にわたる。主な出演作品に日生劇場『ひなたと月の姫』、神奈川芸術劇場『人類史』、新国立劇場 森山開次作：『NINJA』、オペラ『ドン・ジョヴァンニ』など
HP: <http://keiasanuma.jp/>



碓井菜央 (USUI Nao)

伶楽舎×森山開次ジャポニズム2018Paris公演にて森山開次さんと出会い、オペラ「ドン・ジョヴァンニ」「星の王子さま KAAT DANCE SERIES2020」昨年末のParis公演再演に続き5作品目の参加となる。

舞台を中心に活動。主な作品に「イヌビト～犬人～」 「SHOW TIME」 「ジャックザリッパー」 「星の大地に降る涙」 「私は真悟」 「アルジェンタンゴ DANCELEGEND VOL2」 など。近年は舞台の振付も手がけステージの表と裏の両方をこなすダブルプレイヤーとしても活動。



中川 賢 (NAKAGAWA Satoshi)

富山県出身。6歳から現代舞踊を和田朝子に師事。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒業。現代舞踊公演『火の鳥』(主演)や『回転木馬』『イーストウィックの魔女たち』などミュージカルにも出演後、2009年より「Noism1」の主要メンバーとして活躍。19年に退団し再始動、近年の出演作品に『ラ・カージュ・オ・フォール』『マタ・ハリ』『rumor～オルレアンの噂～』『POISON リ・クリエーション』『ピグマリオン』『SOL』『SITA YOKOHAMA』『When will we ever learn?』など。



中川奈奈 (NAKAGAWA Nana)

アメリカ合衆国ワシントン州生まれ。5歳よりバレエを布能正美に師事。2018年全日本バレエコンクール・ジュニアBの部第一位に入賞しチャコット特別奨励賞も受賞。ユースアメリカグランプリ (YAGP) 2021 ジェノバ本選では、シニア部門コンテンポラリーでTOP 12 に選ばれた。現在、新国立劇場バレエ研修所第18期生。



引間文佳 (HIKIMA Ayaka)

幼少より新体操を始め、2009年に日本代表に選出。国内外の大会にて成績を収める。2015年、森山開次演出『サーカス』をきっかけに本格的にダンサーとして舞台に立ち、その後、世界で活躍する演出・振付家の作品に出演。映画『8日で死んだ怪獣の12日の物語』(監督: 岩井俊二) では怪獣ダンサーとして出演し、振付も担当するなど活躍の幅を広げている。主な出演舞台に、「陰陽師生成り姫」(演出: 鈴木裕美)、「人間讃歌」(演出: 三上陽永)、「真冬のバーレスク」(演出: 串田和美) などがある。東京2020パラリンピック開会式/閉会式出演。



藤村港平 (FUJIMURA Kohei)

神奈川県出身。森山開次をはじめ、多くの振付家の作品に出演。近年は、オリジナル楽器の制作や自ら演奏しつつ踊る作品「2本のフルートと踊りのための断章」等を発表するなど音楽とダンスの関係について研究を進めている他、コスチュームデザイナーのひびのこづえと共に作品「MAMMOTH」等を発表するなど、他分野のアーティストとのコラボレーションも行っている。15th Seoul International Dance Competitionにて chairman of contemporary prize を受賞。



美木マサオ (MIKI Masao)

振付家・演出家。マサオブション主宰。東京2020パラリンピック開会式、アシスタント振付家。振付家として、現在までに100本以上の演劇やミュージカルなどを振り付ける。また演者として、森山開次、長塚圭史など様々な演出家・振付家の作品に出演。2008年4月~2009年3月『輝く未来』に所属。2014年「マサオブション」を立ち上げ。日常にある、モノや言葉を使った身体表現で、生きる葛藤を表現し続ける。WSにも定評があり、ダンサー、俳優、子供、障がいのある方等を対象に行っている。東京大学教育学部授業「創造性の心理学」ゲスト講師。



水島晃太郎 (MIZUSHIMA Kotaro)

1999年より和田朝子・和田伊通子に師事。第42回埼玉全国舞踊コンクールにおいて第1位受賞。2016年、第73回全国舞踊コンクールにおいて第1位受賞。平山素子「兵士の物語」「やおよろず」「HYBRID*k」、森山開次「サーカス」「NINJA」、中村しんじ・川野眞子「さーかす」「どぼん」に出演。その他、多くの舞踊作品、演劇、映像作品などに出演。筑波大学大学院を修了し、現在フリーにて活動中。



宮河愛一郎 (MIYAGAWA Aiichiro)

関東国際高等学校演劇科卒業。ニューヨーク Ailey School に留学しモダンダンスを学ぶ。劇団四季「アイダ」のオリジナルキャスト。また金森穰が芸術監督を務める Noism に8年間所属しダンサー兼バレエマスター、ワークショップ担当を任される。現在はダンサー、役者、振付家、演出家、桐朋学園芸術短期大学演劇専攻の非常勤講師などマルチに活動。2020年の門真国際映画祭、映画部門で最優秀助演男優賞を受賞。翌年、同映画祭ダンス映像部門で最優秀男性ダンサー賞を受賞。

公演概要

2021/2022 シーズン ダンス

森山開次 新版・NINJA

MORIYAMA Kaiji NINJA



令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

演出・振付・アートディレクション 森山開次

音楽 川瀬浩介

映像 ムーチョ村松

照明 櫛田晃代

衣裳 武田久美子

音響 黒野 尚

芸術監督 吉田都

出演 浅沼 圭 碓井菜央 中川 賢 中川奈奈(新国立劇場バレエ研修所)
引間文佳 藤村港平 美木マサオ 水島晃太郎 宮河愛一郎 森山開次

主催 新国立劇場、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

【公演日程】

2022年6月25日(土) 14:00

2022年6月26日(日) 13:00

2022年6月26日(日) 17:30

【全国公演】

秩父宮記念市民会館 大ホールフォレスト (埼玉県)

2022年7月3日(日) 14:00

オーバード・ホール (富山県)

2022年7月9日(土) 14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービスは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演60分前、客席開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 中劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結)

【予定上演時間】約1時間30分(休憩含む)

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/dance/ninja/>

【チケット料金(税込)】

席種	S席		A席		Z席*
	おとな (中学生以上)	こども (4歳~小学生)	おとな (中学生以上)	こども (4歳~小学生)	
料金 (税込)	6,600円	3,300円	4,400円	2,200円	1,650円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、公演最終日まで上記料金の10%OFFでお求めいただけます。

◆こども料金は、ご観劇当日に4歳以上小学生以下の方が対象です（中学生の方はおとな料金となりますが、ジュニア割引[20%割引]をご利用いただけます）。また、ご入場時に年齢を確認させていただく場合がございます。

◆こども料金にはアトレ会員割引を含め、各種割引はございません。

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2022年5月8日（日）10:00～10日（火）

新国メンバーズ先行販売期間：2022年5月9日（月）10:00～10日（火）

一般発売日：2022年5月14日（土）10:00～

*通常の座席配置での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：505-985】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：39699】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

2022年「夏のこども劇場セット」のご案内

2022年の夏、新国立劇場では大人もこどもも楽しめるダンスとバレエを2作品上演します。感性が豊かに育まれる大切な時期のお子様にも、上質な舞台芸術を鑑賞していただきたく、この2作品をお子様と一緒に楽しめるお得なセット券「夏のこども劇場セット」をご用意しました。多彩なジャンルの作品を上演する新国立劇場ならではのセットです。こどもの頃に観る舞台は一生の宝物。この夏は、ぜひお子様と一緒に新国立劇場へ！

【セット券対象公演】

<ダンス公演> 6月 森山開次『新版・NINJA』
対象席種：S席 おとな6,600円 こども3,300円

<バレエ公演> 7月 こどものためのバレエ劇場2022『ペンギン・カフェ』
対象席種：全席指定 おとな5,500円 こども2,750円

可愛らしい動物たちの姿と軽快な音楽が楽しい人気作。次々に陽気なダンスを披露するのは、実はすでに絶滅した動物、あるいは絶滅危惧種ばかり。作品の根底には、現代の環境問題に通じるメッセージが込められています。上演前には、絶滅危惧種の動物などについてのプレトーク付き。



【料金（税込）】

こどもセット **5,400円**（正価6,050円から10%割引）
おとなセット **9,600円**（正価12,100円から20%割引）

・こどもセットは、ご観劇当日に4歳以上小学6年生以下の方が対象となります。こどもチケットは、ご入場時に年齢を確認させていただく場合がございます。

【セット券発売日】

一般発売日 5月14日(土)10:00～

【お申込み方法】

2作品それぞれご希望のお日にちをお選びの上、新国立劇場ボックスオフィスへお電話、または窓口でお申し込みください。

新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999（10:00～18:00、休館日を除き年中無休）

【チケット購入時の注意点】

- ・2作品のいずれかの公演が完売、または『NINJA』公演が終了した時点で、セット券の販売は終了します。
- ・アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。車椅子をご利用のお客様は、各単券の発売日よりボックスオフィスまでお問い合わせください。
- ・おとなセットのみを単独でご購入いただくことはできません。必ずこどもセットと一緒にお願いします。また、その際は同じセット内容（日時）でのご購入となります。